



令和6年12月3日

市政記者各位

道路下水道局 道路利活用推進課

福岡市無電柱化推進プロジェクトチームによる 「FUKUOKA モデル」の成果に関する 報告会の開催について

国内における無電柱化リーダー都市を目指し、福岡市と電気・通信事業者が連携し、無電柱化事業に係る様々な課題の解決に向けた調査・検討を行うために発足した「福岡市無電柱化推進プロジェクトチーム(以下、無電柱化PT)」による標記報告会を下記のとおり開催しますので、お知らせします。

記

1 日 時 令和6年12月10日(火)13:10～13:40

2 場 所 庁議室(福岡市役所9階)

3 出席者

・高島市長
・無電柱化PTメンバー(市職員8名、九州電力送配電(株)3名、NTTインフラネット(株)3名)
・無電柱化PTサポートメンバー
(市職員2名、九州電力送配電(株)1名、NTTインフラネット(株)1名)

4 取材

取材(傍聴・撮影)は、冒頭から終了まで可能です。

撮影・取材を希望される方は、当日会場にて12:40から受付を行います。

5 参考

無電柱化PTについては別添資料をご参照ください。

R2年度の活動報告資料は、2次元コードをスキャンしてご確認ください。

【お問い合わせ先】

道路下水道局計画部道路利活用推進課 山口、安部
TEL: 711-4518 (内線6071)



福岡市無電柱化推進プロジェクトチームについて

＜チームの構成＞

道路下水道局を中心に、住宅都市局、経済観光文化局、博多区から、将来の福岡市のまちづくりを担う世代である若手職員 8 名をチームメンバーとして選定し、これに加えてサポートメンバー 2 名を配置。

また、電気・通信事業者である九州電力送配電株式会社福岡支社及び NTT インフラネット株式会社九州事業部福岡支店からもご賛同いただき、両社からチームメンバー各 3 名とサポートメンバー各 1 名ご参加いただき、計 18 名で構成。

＜チームの狙い＞

若手による、既存にとらわれない、柔軟な発想により、従来手法における課題等を議論、先進事例などの調査や検討を行い、課題解決の具体策として、FUKUOKA モデル（※）を提唱。

＜立ち上げの経緯＞

道路における無電柱化は、これまで防災性の向上、安全性・快適性の確保、良好な景観形成等の観点から実施してきたが、近年、災害の激甚化・頻発化や高齢者の増加、訪日外国人を始めとする観光需要の増加等の社会情勢の変化を踏まえ、さらなる推進が求められている。

しかしながら、無電柱化を進めるにあたっては、コストが高い、事業期間が長い、住民理解が低いなど、様々な課題があり、事業が進んでいない。

このため、無電柱化リーダー都市を目指し、これらの課題解決に向けた具体的な調査・検討を行う「福岡市無電柱化推進プロジェクトチーム」を令和2年11月に発足。

※ FUKUOKA モデル

道路の縦断方向の電線類地中化を先行し、民地引込線は残して整備する「ファスト地中化」や、工事期間中に、日々の工事ヤードの撤去・復旧作業を無くし、工事の効率性向上を図る「工事ヤードの常設化」など、7つの取り組みをパッケージ化したもの。